

令和7年度学校評価報告書

令和8年 3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道根室高等学校長 印

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 1 地域と連携しながら教育の質の向上を図り、生徒が生き生きと活動する学習機会を設定する。
2 適切な評価を実施し、生徒のさらなる学習意欲と課題解決能力の向上を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
1 カリキュラム・マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営シラバスやグランドデザインに則り、教科や分掌において「生徒に身に付けさせたい10の資質や能力」の観点を意識した教育活動が進められた。 生徒一人1台のPCを授業や探究・進路活動に活用している。 	評価【B】 <ul style="list-style-type: none"> 生徒の状況に応じた教育活動が実践されている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生徒に身に付けさせる力を明確にした教育活動を実践していくとともに、教員間での研修を強化していく。 	
2 地域の信頼に応える魅力ある学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> オープンスクールに留まらず、個別に中学校を訪問、高校での受入実態などを説明し、保護者や中学生の期待に応えた。 安心安全メールを活用し、緊急連絡体制の充実に努めた。 防災教育や探究活動など、地域との連携を取り、学習を進められた。 	評価【B】 <ul style="list-style-type: none"> 探究活動を通して、地域に活動を広げている様子が見受けられる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> これまで以上に学校の情報発信に努め、地域への理解を深めていく。 	
3 生徒一人ひとりへのきめ細やかな指導や支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談や面談を通して、生徒一人ひとりと丁寧に向き合うことができている。 いじめ防止に対し、組織的・計画的な取り組みに努めた。 特別な支援を必要とする生徒への指導・支援体制を整えた。 	評価【B】 <ul style="list-style-type: none"> 先生方が教育相談や面談などを通して、生徒に対して丁寧な対応を心がけている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活への適応力や、対人関係の構築力など多様な生徒実態であり、個に応じた寄り添った指導を継続していく。 	
4 組織的・体系的なキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間で地域職業人との関わりが増え、地域の様々な課題に対し、生徒が主体的に考え、行動することができた。 2年次インターンシップでは、全ての生徒が職業体験を実施し、自らの職業的な能力や適性を学び、勤労観や職業観を養った。 	評価【B】 <ul style="list-style-type: none"> 未来の根室を担う高校生に、地域の課題と一緒に考え、取り組むことは引き続き実践してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動や学校行事を通じて、引き続き探究活動の更なる深化と、進路目標への取り組みに活かしていく。 	
5 健康でいきいきとやりがいを持って勤務し、教育の質を高められる環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> 業務の精選と、教科横断的取組みを進めることで、分担と協働により個々の教職員の負担が減るように進めている。 分掌や年次、教科等の協働体制が確立し、風通しの良い職場環境が作られている。 長期休業期間中の年休取得を積極的に進めている。 	評価【B】 <ul style="list-style-type: none"> 良い職場環境にこそ良い教育環境があると思いますので、ワークライフバランスに留意して働き方改革を推進してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 教員だけでなく地域の意見も取り入れながら、前例にとらわれない行事や業務の進め方を検討していく。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページ 学校運営協議会 	